



駿河台大学 NEWS

駿河台大学ホームページ <http://www.surugadai.ac.jp/>

平成19年度 文部科学省「現代GP」2件採択!!

地域とゼミによる総合的キャリア教育
「駿大の森」百年協定に基づく飯能活性化 - 「森林文化都市」構築支援プロジェクト-

本学の教育改革が高く評価されました

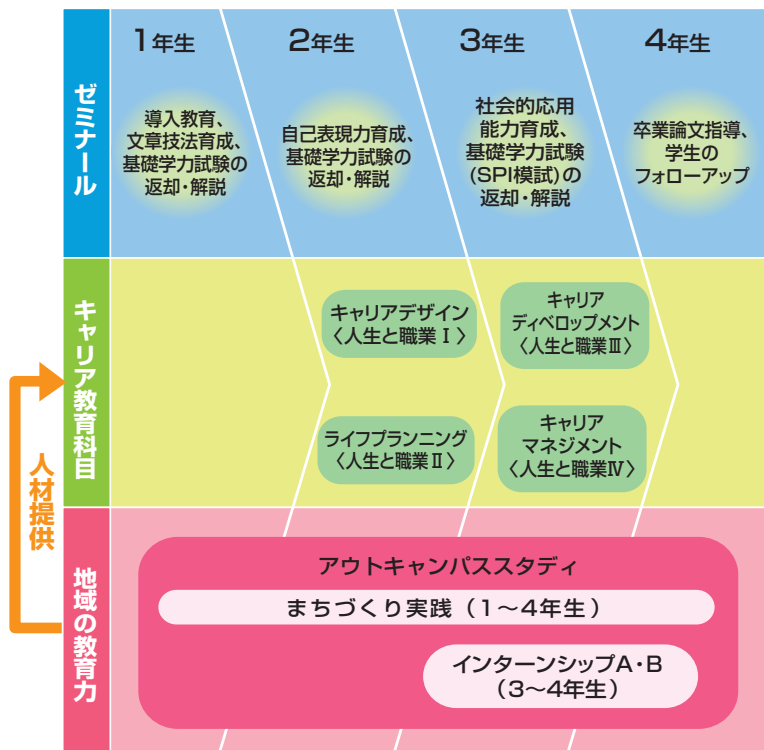
7月30日(月)、文部科学省は平成19年度「現代GP」の選定取組を決定し、本学から申請した2件の取組が採択されました。
今年度「現代GP」への申請件数は、国公立大学からの単独申請が301大学からの456件で、採択件数は78大学92件、採択率は20.2%という難関でした。さらに複数の申請を行った118大学のうち、2件以上採択された大学はわずか12大学であり、本学の意欲的な取組は厳しい審査を通過しました。
本学は、平成16年度にも「学生参加による<入間>活性化プロジェクト」が「現代GP」に選定されており、改めて本学の教育改革への取組が高く評価されました。

現代GPとは

文部科学省は、国公立大学が実施する教育改革の取組の中から、優れた取組を選んで財政的に支援するとともに、その取組について広く社会に情報提供を行うことにより、大学改革を促進しています。この優れた取組を「Good Practice : GP」と呼び、これらの取組を支援するプログラムとして、文部科学省では「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」と「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」等を実施しています。
「現代GP」では、社会的要請の強い政策課題(地域活性化への貢献、実践的総合キャリア教育の推進など)に関するテーマを設定し、これらに対する優れた取組を支援します。

地域とゼミによる総合的キャリア教育

まちを教室、地域住民を教師にしたアウトキャンパススタディの活用と、専任教員及び地域人講師団による段階的なキャリア教育科目の履修によって、現実根ざした社会観・職業観を養います。
また、全学生を対象とする少人数制のゼミナールにおいても、専任教員によるキャリア教育を体系的に進めます。
さらに、地域産業と地域教育の発展に寄与することを目的として創設された「埼玉県西部地域雇用促進協議会」との産官学連携により、地域雇用を促進します。



アウトキャンパススタディ

教室を飛び出して、まちの様々な活動に参加することで、社会性を身に付け、コミュニケーション能力を高めます。また、地元企業での就業体験により、キャリアに対する考え方を深めます。

キャリア教育科目

各学部の専門的な勉学と同時に、大学での学びと卒業後の社会生活との関連を考える科目。学年に応じて専任教員及び地域人講師団が担当します。

ゼミでの教育

本学の特色である少人数制のゼミナールで、将来の夢や卒業後の進路を考えることで、キャリア設計を身近に意識し、教員から直接、実践的な支援を受けます。

地域人講師団

地域社会の第一線で活躍する人材の協力によって、社会の動きをオンタイムで受け取り、現実的な課題と向き合うなかで、確固とした就業意欲を養います。

●「駿大の森」百年協定に基づく飯能活性化 —「森林文化都市」構築支援プロジェクト— ●

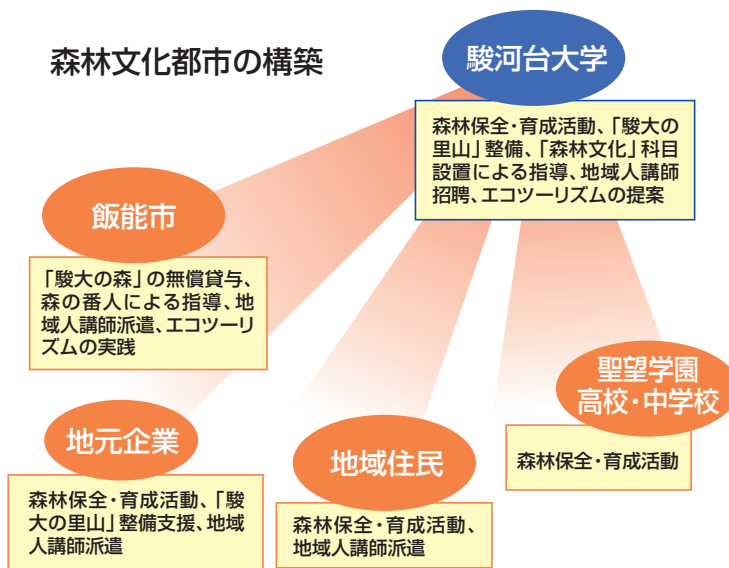
本学が位置する飯能市は、面積の70%以上を森林が占めており、飯能市はこの地域特性を活かして「森林文化都市」宣言を行い、環境省による「エコツーリズムモデル地区」にも選定されています。

本プロジェクトは、こうした飯能市の地域活性化活動への貢献と、本学の教育目標である「地域社会の中核を担う人材の育成」の実現に向けた総合的な取組です。

そのために、飯能市から100年間にわたって無償で貸与された「駿大の森」における森林育成や保全活動、及び本学キャンパスの約50%を占める「駿大の里山」における里山づくりを、飯能市・市民・企業との産官学連携、さらには地域の中学校・高校との中・高・大連携を図りつつ実践します。その中心となるのは、今年度からの新設科目「森林文化」です。



森林文化都市の構築



駿大の森

飯能市から100年間無償貸与された市有林で、森林の育成・保全を実践。

新設科目「森林文化」

全4学部で教員と地域人講師が担当。教室での講義と、森林での体験学習を通して、森林地域である飯能市の地域特性を多角的に学習します。

駿大の里山

キャンパスの約50%を占める森を「癒しの森」として整備。間伐材を利用した「癒しの道」をつくります。

産官学連携と中・高・大連携

飯能市・地域住民・地元企業、並びに聖望学園高校・中学校との協働により各種のプロジェクトを展開します。

本学の教育目標と本プロジェクトとのつながり

地域社会の中核を担う人材

連携による学習

- 中学生・高校生及び自治体・市民・企業との協働により、異年齢間及び価値観の異なる人々とのコミュニケーション力を身に付けます。
- 協力や協働を通して、集団的な問題解決能力を学習します。
- 現実性のある活動の企画提言を行い、実行します。

学生

新設科目「森林文化」

- 地域理解の多様な視点と、現実的問題解決能力を身に付けます。
- 森林保全・育成体験から環境・自然の多様性を理解します。
- 人間と自然とのかかわり方の豊かさや意味を理解し、自然の利用可能性を認識します。
- 自然にやさしい経済や観光、及び地域活性化の可能性を学びます。

